

1月講座 再生可能エネルギーを考える ～発電から熱利用まで～

□実施日 平成25年1月11日(金)、17日(木)、22日(火) 全3日間

□受講者数 定員50名、受講申込者 69名 受講決定者 55名
(会場の収容可能人数以内であったため、55名を受講決定)

□実施内容

【第1日目(1月11日 金曜日 午後)】講義 (出席者数 47名)
(東京都庁第二本庁舎 207・208 会議室)

○挨拶等

- ・事務局(研究所)から受講上の注意、資料確認、全体スケジュール等
- ・環境局環境政策課(企画調整係)より開講挨拶及び本講座の目的等について

○講義

各講師より、レジュメに沿っての説明及び受講者との質疑応答が行われた。

【前半】 「再生可能エネルギーの今」

(講師) 特定非営利活動法人 環境エネルギー政策研究所 理事 松原弘直氏

(内容)

- ・日本における電源構成・特に自然エネルギーの比率と電力供給の構成別推移
- ・政府「革新的エネルギー・環境戦略」策定の経緯と概要
- ・「2030年までのエネルギー・環境施策の選択のための論点」
- ・世界における自然エネルギーの現状、自然エネルギーの導入拡大に向けた動き
- ・自然エネルギーの種類別(太陽熱、太陽光、風力、地熱等)の動向
- ・市民ファンドによる地域エネルギー事業など、自然エネルギー普及拡大に向けた新たな動き

【後半】 「東京都の再生可能エネルギー導入施策について」

(講師) 東京都環境局 都市地球環境部 計画調整課 再生可能エネルギー推進係

(内容)

- ・現状認識 ～東京都における再エネ導入の必要性～
- ・中小企業における取組の必要性
省エネ促進税制や地球温暖化対策報告書制度の説明等
- ・その他の再エネ導入策
東京都のCO₂総量削減義務と排出量取引制度、再生可能エネルギー利用設備導入検討義務、マンション環境性能表示についての説明
- ・太陽エネルギーの利用拡大
住宅用太陽エネルギー導入補助等について
- ・固定価格買取制度を踏まえた取組の方向性
東京都「屋根貸しビジネス」マッチング事業等の説明
- ・熱は熱で～太陽熱利用の大幅拡大に向けて

○事務局(研究所)からの事務連絡後、終了。解散

【第 2 日目（1 月 17 日木曜日）】事例視察 1・講義等（出席者数 42 名）

【午前】

○事例視察 1 地中熱利用施設（一番町笹田ビル）

○概要説明及び視察

- ・ 地中熱利用促進協会 理事長 笹田様より、地中熱利用の原理や仕組み、地中熱利用ヒートポンプについて説明
- ・ 地中熱ヒートポンプ施設及びモニター画面の視察、質疑応答

（視察終了後、各自移動、昼食等）

【午後】

○講義・見学「身近なエクセルギーを利用して、地球のすまい手になろう」

～エネルギーから身近なエクセルギーへ～

（小金井市環境配慮住宅型研修施設「雨デモ風デモハウス」にて実施）

（講師）特定非営利活動法人グリーンネックレス 理事 黒岩哲彦氏ほか

○講義・見学・質疑（13:15 開始 3 時間程度）

（講義内容）

- ・ エネルギーから身近なエクセルギーへ
- ・ エクセルギーハウスの仕組み
- ・ 身体でわかる「身近なエクセルギー技術」
- ・ エクセルギーハウスで検証されたこと
～「生活では一般で言うエネルギーはほぼ必要ない」
- ・ 「窓を開けるすまい方」に向けて

※ パッシブエネルギー利用施設であるこのハウスを実際に見学・体感しながら、講義、質疑等も含めて講座を実施した。

○事務局（研究所）からの事務連絡後、終了。解散

【第 3 日目（1 月 22 日 火曜日）】 講義・事例視察 2 （出席者数 43 人）

【午前】 講義 （東京都庁第二本庁舎 207・208 会議室）

各講師より、レジュメに沿っての説明及び受講者との質疑応答が行われた。

【前半】 「地中熱エネルギー」

（講師）特定非営利活動法人 地中熱利用促進協会 理事長 笹田政克氏

（内容）

- ・ 地中熱とは
- ・ 地中熱利用の優れた点
- ・ 利用事例紹介
- ・ 普及の現状及び課題
- ・ NPO法人地中熱利用促進協会の活動
- ・ 街づくりの中での地中熱利用

【後半】 「木質バイオマスのエネルギー有効利用」

（講師）株式会社 森のエネルギー研究所 取締役 豊嶋善基氏

（内容）

- ・ 木質バイオマスエネルギーの概要
- ・ 化石燃料との比較
- ・ 国内の木質バイオマス動向
- ・ バイオマス導入・利用事例
- ・ バイオマス導入のポイント

【午後】 事例視察 2

都庁よりバスにて奥多摩町まで移動し、木質バイオマス関連施設を視察した。

① 木材チップ製造施設

○概要説明及び視察

- ・ 公益財団法人東京都農林水産振興財団 花粉対策室 真田主任より、スギ花粉の削減と林業再生を目的とした取組（主伐事業：スギの伐採、花粉の少ないスギへの植替え事業）と、この事業で発生した木材の一部を原料としてチップに加工している加工場について概要説明を受け、施設見学、質疑応答を行った。

（終了後、バスにて移動）

② 木質バイオマスボイラー（奥多摩温泉 もえぎの湯）

○概要説明及び視察

- ・ 奥多摩町 観光産業課 岡部係長のご説明により、上記のスギ伐採事業で製造した木材チップを燃料として利用した木質バイオマスボイラーの視察、質疑応答等を行った。

○バスで青梅駅まで移動（車中でアンケート記入）。青梅駅にて解散。

平成 24 年度 テーマ別環境講座（第 4 回） 実施報告

《講座の様子》再生可能エネルギーを考える ～ 発電から熱利用まで ～

【第 1 日目】平成 25 年 1 月 11 日（金）講義（東京都庁第 2 本庁舎 会議室）



（講義「再生可能エネルギーの今」）



（講義「東京都の再生可能エネルギー導入施策について」）

【第 2 日目】平成 25 年 1 月 17 日（木） 午前 事例視察 1（地中熱利用施設）



（地中熱利用施設：一番町笹田ビル）



（講義「見える化による省エネ」後半）

【第 2 日目】 午後 講義等（パッシブエネルギー利用）



（小金井市環境配慮住宅型研修施設にて実施）



（小金井市環境配慮住宅型研修施設にて実施）

平成 24 年度 テーマ別環境講座（第 4 回） 実施報告

【第 3 日目】平成 25 年 1 月 22 日（火）午前 講義（東京都庁第 2 本庁舎 会議室）



（講義「地中熱エネルギー」）



（講義「木質バイオマスのエネルギー有効利用」）

【第 3 日目】平成 25 年 1 月 22 日（火）午後 事例視察 2（木質バイオマス関係）



（木材チップ製造施設）



（木材チップ製造施設）



木質バイオマスボイラー（奥多摩温泉 もえぎの湯）